

スサーナ (1950)

SUSANA
DEMON Y CARNE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 メキシコ

色彩 B&W

時間 87分

初公開日 1987/07/25

公開情報 ヘラルド・エース

【解説】

これはB級だ……。脱獄ものなんだもん、それも女の。ピカッと稲光りする嵐の晩に、ヒロインのスサーナが刑務所から脱走する。ここの描写のツボの押さえ方たるや抜群の出来。とある農家に逃げ込み、そこの主人から息子、使用人に至るまで万遍なく誘惑し、それぞれを夢中にさせる。平和な家庭にバッチリひびを入れて、まあ、終わり方は当時のモラルに従っているけど、あんまりスサーナが同情の余地ないワルなので、見終わって残るのはその激情の迫力ばかり。男なんてみんな腑甲斐なくて嘘つきで下らない、とお嘆きのS女、スサーナみたいな女王様に翻弄されたいM男、両者とも必見の映画という名のビンタ。ブニュエル作品だからって構えないで！

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
製作	セルヒオ・コーガン	
原案	マヌエル・レアーチ	
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	ハイメ・サルヴァドール	
撮影	オセ・アルティス・ラモス	
音楽	ラウル・ラヴィスタ	Raul Lavista
出演	ロジタ・キンターナ	
	フェルナンド・ソレル	
	ヴィクトル・マヌエル・メンドーサ	Victor Manuel Mendoza
	ルイス・ロペス・リモサ	